



自治体国際交流表彰（総務大臣賞） ～活発な活動を全国へ発信！～

（一財）自治体国際化協会交流支援部交流親善課

1955年に長崎市とアメリカ・セントポール市の間に於いて、日本で初めて姉妹都市が結ばれてから60年以上が経ち、国際交流の内容は社会の変化とともに多様化しています。同時に、交流活動の実施においては、「発展した交流を続けていくためには?」、「地域住民等と連携して交流するためには?」、「交流内容をさらに充実させるためには?」といった課題を抱えている自治体も少なくありません。

自治体国際交流表彰とは?

そこで、総務省とクレアでは、日本と外国の姉妹自治体交流等のうち、創意と工夫に富んだ取り組みを表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体の国際交流の更なる活性化を図り、地域の国際化に資することを目的として、自治体国際交流表彰（総務大臣賞）事業を実施しています。



第13回自治体国際交流表彰（表彰式）

過去の受賞団体

表彰事業は、2006年に始まり、今年度で第14回目を迎えます。これまで第1回から第13回の間、39団体が、それぞれの工夫した取り組みや先進的な取り組みを評価され表彰（奨励賞も含む）されています。

過去の受賞団体と活動内容については、クレアホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

[http:// www.clair.or.jp/j/exchange/shien/hyoushou.html](http://www.clair.or.jp/j/exchange/shien/hyoushou.html)

過去3年間の受賞団体

年度	受賞団体	交流相手先
第13回 2018年度	滋賀県	ミシガン州（アメリカ）
	新城市（愛知県）	ニューキャッスル・アライアンス加盟都市（新城市含む、15カ国17都市）
	立川・サンバーナディノ姉妹市委員会（東京都）	サンバーナディノ姉妹市委員会（アメリカ）
第12回 2017年度	文京区（東京都）	カイザースラウテルン市（ドイツ）
	浜田市（島根県）	タシヤンツェ県および西ブータン地域（ブータン）
	高松市（香川県）	トゥール市（フランス）
第11回 2016年度	新潟市（新潟県）	ガルベストーン市（アメリカ） ハバロフスク市、ウラジオストク市、ビロビジャン市（ロシア） ハルビン市（中国） ナント市（フランス） ウルサン広域市（韓国）
	大和高田・リズモー都市友好協会、大和高田市（奈良県）	リズモー市（オーストラリア）
	内子町（愛媛県）	ローテンブルク・オブ・デア・タウバー市（ドイツ）

受賞団体の交流の概要と評価のポイント

第13回（2018年度）自治体国際交流表彰の受賞団体における交流活動の概要と評価のポイントをご紹介します。

滋賀県

○交流相手先 ミシガン州（アメリカ合衆国）

○提携年月日 1968年11月14日

○交流の概要

湖のつながりをもとに、環境や経済、文化などの分野において住民相互の友好親善を推進してきました。県内11市町と州内13市郡区も姉妹都市関係を持ち、それぞれ独自の交流を実施しています。1976年以降、県民ま

たは州民からなる友好親善使節団の相互派遣を実施し、両県州それぞれのホームステイ等を通じて友好を深めています。1989年には、姉妹県州提携 20 周年を記念して、県内に、ミシガン州立大学連合日本センターが開設され、留学生や地域住民等、多くの方々がお互いの文化や言語を学ぶ国際交流の拠点となっています。

2017 年および 2018 年は、姉妹県州提携 50 周年を記念して、2 年にわたり記念事業を開催し、各界から非常に多くの方々にご協力、ご参加いただき、友好の絆を深めました。両県州は今、新たな時代に向けて共に歩んでいます。



ミシガン州アナーバー図書館で書道展の開催にあわせ、書道のワークショップを開催



ミシガン州立大学連合日本センターで留学生らが日本文化を体験

<評価ポイント>

- ◇湖という地域の特性を生かした 50 年にわたる交流の成果が、日米双方の若者への教育機会の提供、市民交流の促進など多方面に現れている。
- ◇県内 11 市町が州内 13 市郡区と姉妹都市になっていることは、県民・市民の間に交流事業が定着する上でも有意義であり、県レベルの国際交流の範となる。

新城市（愛知県）

○交流相手先

ニューキャッスル・アライアンス加盟都市（新城市含む、15 カ国 17 都市）

○提携年月日 1998 年 11 月 12 日

○交流の概要

新城市の提案により、「新城」と同じ意味の都市名を持つ自治体に呼びかけ、1998 年から 2 年ごとに「ニューキャッスル・アライアンス会議」を開催しています。第 11 回会議（2018 年）は、新城市で開催され、市民約 7 千人が参加するとともに、東三河の 38 の企業と外国人参加者が交流する東三河経済交流会も開催されました。また、2017 年に開催された加盟都市の若者を対象とした「ユースアライアンス会議」における提案が観光 web アプリケーションの開発につながりました。



市内小学生による参加者の歓迎（第 11 回会議）



ユース部門ディスカッション（第 11 回会議）

<評価ポイント>

- ◇都市名にちなんで国際的なアライアンスを創るという発想がユニークであるだけでなく、15 カ国 17 都市の加盟まで拡大し若者の意見交換やビジネスフェアなど交流を多面的かつ実質的なものとしている。
- ◇行政のみならず、市民各層や経済団体が事業に参画しており、裾野の広がりを感じられる。

立川・サンバーナディノ姉妹市委員会(東京都)

○交流相手先

サンバーナディノ姉妹市委員会(アメリカ合衆国)

○提携年月日 1959年12月23日

○交流の概要

姉妹都市提携を締結した翌年、両市民の親善と理解、世界平和達成を目的として立川・サンバーナディノ姉妹市委員会が発足しました。1962年から始まった高校生交換事業は現在も

続いており、里親宅に約1カ月間ホームステイを行い、両市の交流を深めています。派遣生は、帰国後にOB・OGで構成する青年クラブの会員となり、翌年以降に派遣される学生の支援を行うなど、両市の絆を深める役割を担っています。



サンバーナディノ姉妹市委員会委員長テルマ・プレス氏親子と。サンバーナディノ市にて(姉妹市提携60周年記念式典)



おなじみの浅草、雷門にて(支援六団体共催バス旅行)

<評価ポイント>

◇約60年にわたって高校生交換事業を継続し、多くの若い人材育成に貢献しており、確実に成果が生まれつつある。

◇行政主導から委員会主導へと自立化が図られ、市内の各種団体の協力を得ながら派遣生OB・OGやその親が中心的な担い手となるなど、発展段階の中で進化が見られる。

第14回(2019年度) 自治体国際交流表彰について

○募集案内

9月下旬から10月上旬頃にクリアより各支部(各都道府県および各政令指定都市)および各地域国際化協会を通じて、募集のご案内をします。クリアホームページにも掲載する予定です。

○対象団体および対象事業

表彰の対象となる団体は、自治体国際交流を行っている都道府県や市区町村、地域国際化協会および国際交流協会等の民間非営利団体です。自治体国際交流には、姉妹自治体提携に基づく交流活動のほか、特定分野(教育、経済、観光など)の協定、覚書などに基づく交流およびこれに準ずる交流(協定等によらないが継続性があるもの)も含まれます。

みなさまのご応募をお待ちしております!

新たな交流 始めませんか?

* 姉妹(友好)都市提携の希望 *

クリアでは、新たな姉妹都市提携を希望している自治体の支援をしています。

今回は、日本の自治体と提携を希望している都市のうち3都市をご紹介します。

フランス オー＝ド＝フランス州 オワーズ県トラシー・ル・モン

▶昼夜人口差の問題などを解決し、調和のとれた街の発展および交流を目指しています。

チュニジア共和国 ゼビルト県ラスジベル市

▶再生可能エネルギーの導入、周辺都市も含めた家庭ごみのリサイクル、青少年交流を希望しています。

イタリア ロンバルディア州 パピア県ザバッタレッロ町

▶文化交流、自治体・学生・生産者による相互訪問、農産品販売等の経済交流を希望しています。

詳しくは、クリアホームページをご覧ください。各国の都市からの提携希望に関する情報を掲載しております!

<http://www.clair.or.jp/j/exchange/shimai/kibou.html>